

1. 産業分野の選定について

- 第1回検討会で8産業分野の現状と課題を提示したところ。第2回検討会以降は、観光産業に次ぐ産業のあり方を検討するため、現状の産業力や今後の国内外動向等をふまえ、以下の5つの分野・業種を選択し深掘りする。
- 当該5分野・業種の中でも、生産性向上や所得向上に寄与しうる、発展可能性のある業種・業態を抽出するための議論・検討を行うこととする。

1. 製造業分野	2. 情報産業分野	3. 医療・バイオ産業分野	4. スポーツ・ヘルスケア関連産業分野	5. 航空機整備事業
労働生産性が高い分野であり、地域への生産波及が大きく、また、国内外の動向を的確に把握し、東アジアの中心に位置する地の利を活かした展開をすることで、付加価値を高められる産業分野として期待される。	観光産業に次ぐ大きな産業となっているが、他産業と連携した生産性向上に加え、今後の国内外の動向をとらえ付加価値を高めることで、リーディング産業分野として期待される。	国内だけでなく近隣のアジア地域でも少子高齢化が顕在化していく中、需要が急増する分野と考えられ、沖縄で付加価値を高められる産業分野として期待される。	国内外の運動志向・健康志向の高まりを受け、今後有望視されており需要が急増する分野と考えられ、沖縄で付加価値を高められる産業分野として期待される。	今後、国内・アジアで就航便数及び航空機数が急増すると予想されており、かつ、就航率が高く、第2滑走路が完成した沖縄において付加価値を高められる産業分野として期待される。 ※コロナ禍後の回復を見込む。

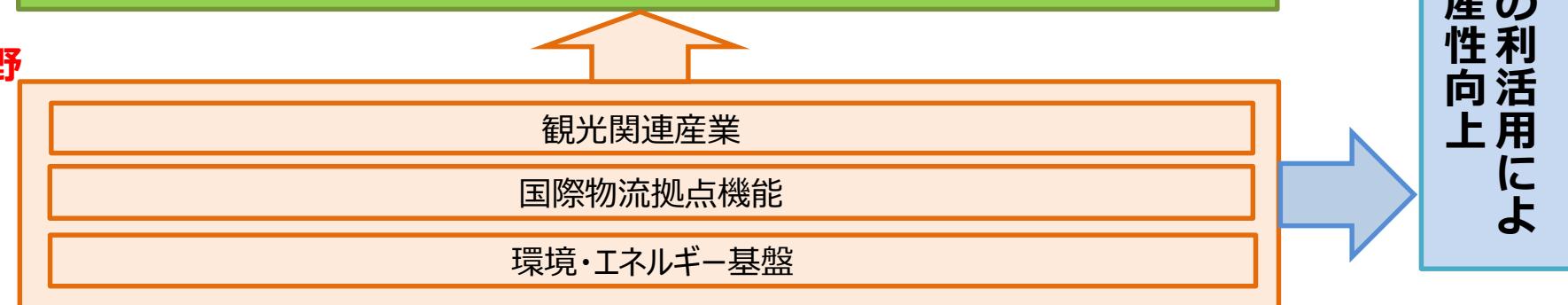
2. 沖縄の産業振興のあり方のイメージ

労働生産性・所得の向上

有望産業
分野



横断的分野



課題に対応した取り組み等

